

奈良木辰也 （たけらぎ たけし） 國史學者。大正二年十一月十一日山口縣生れ。平成十一年二月、二十一年（百敏）（九三—〇〇一）。昭和十三年京都帝國大學文學部國史學科卒。二十二年と命館大學教授。四十一年主任辭職し、著述活動に専念。近世史專攻。

著書『吉田松陰』（昭和二十六年一月十五日電波書店「岩波新書」）、
『日本歴史の女性』（早稲田大学図書）（合著・川崎庸之
編、昭和二十六年六月二十日、再刊・二十七年八月二十日電茶の水書
房）、『日本人の思想と意識』（合著、昭和二十八年八月五日春秋社
「現代日本人の「生き方」」）、『部落問題』（昭和二十九年六月十日
潮文社）、『京都の庭』（昭和三十年十月三十一日電波書店「河出新
書」）、『文学への招待』（合著・NHK京都放送局編、昭和二十二年十一月一日大阪・創元社）、『二宮尊徳』（昭和二十四年一月二十
日電波書店「岩波新書」）、『歴史のわづらひ』と『社会』（合著・日
本史研究会編、昭和二十五年九月十五日みすず書房）、『部落問題入
門』（昭和二十八年四月一日京都・汐文社）、『高杉晋作―維新前夜
の群像』（昭和四十年二月五日中央公論社「中公新書」）、『安藤昌益
著「筑前真伝」全二冊（説注、上・昭和四十一年八月十六日、下・四
十一年四月十六日電波書店「岩波文庫」）、『体験的昭和史』（前芝
一美と嶋の感覺性』（合著・芸術生活編集部編、昭和四十五年八月二十
五日芸術生活社「芸術新書」）、『歴史のわづらひの青春群像』（昭和
四十六年八月一日新人物往来社）、
『忘れられた殉教者』（高野澄生著、

歴史のながの青春群像
私の帯末
奈良木辰也
奈良木辰也

昭和四十七年五月十日小学館「100万人の創造選書」(武蔵五輪書)

入門「個性の勝ち、衆人の勝ち、時代の勝ち」(昭和四十七年十月十日徳

間書店「トクマブックス」(「まごころ」の雄新)(昭和四十九年十

一月十五日新潮社)、「近世政道論」(校注、昭和五十一年五月二十

八日岩波書店「日本思想大系」(「日本近世の思想と文化」(昭和

五十二年一月二十日岩波書店)、「松の暮末」(昭和五十二年二月一

十四日主婦の友社「TOMO選書」(「昭和史と共に歩んだ青春」

歴史家への道」(昭和五十二年六月十日文一総合出版)、「思い出しの

本」(合著、昭和五十九年十月十五日出版ニュー入社)等。